

令和 7 年 10 月 吉日

日本建築学会近畿支部 構造力学部会

主査 荒木 慶一

第 74 回構造力学コロキウムのご案内

拝啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃本部会の活動に関しましては格別のご配慮、ご協力を賜り、誠に有難くお礼申し上げます。

このたび、以下の通り第 74 回構造力学コロキウム「建築構造におけるデジタルファブリケーションの可能性」を開催いたします。

本コロキウムでは、建築構造のみならず建築施工や建築意匠の分野で活躍されている方々をお呼びし、ご自身の専門的観点と国内外の建築全般の俯瞰的観点の両面からご講演頂き、現在、建築分野で喫緊の課題となっている「デジタルファブリケーションの本格的活用による生産性向上」に向けて、建築構造に携わる技術者や研究者に望まれる役割について、情報共有と意見交換を行いたいと考えています。特に若手の構造設計者や研究者、学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。

部会会員の皆様には、お近くの方々もお誘いいただき、奮ってご参加くださいますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 : 2025 年 12 月 13 日 (土) 13:15～17:00

場 所 : 大阪科学技術センター 701 号室

(〒550-0004 大阪市西区靱本町 1 丁目 8-4

<https://www.ostec.or.jp/ostec-room/access>)

参加費：無料

※ 本年度より、講究録は基本オンライン配布とします。

参加申込：下記 URL より、ご氏名・ご所属・メールアドレスをご登録ください。

<https://forms.gle/pMoCxjKjWrbJoac9>

※ フォームを入力しますと、入力内容が入力したメールアドレス宛に送付されます。

もし、回答内容のメールが届かない場合は、再度入力いただくか、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先：神戸大学 鍋島国彦 (E-mail: aijkinki.strmech@gmail.com)

テーマ：「建築構造におけるデジタルファブリケーションの可能性」

プログラム（敬称略）：

- 1) デジタル・クラフト時代の建築職能再考
林 和希（京都大学）
- 2) 左官職人のモーションキャプチャとロボットアームによる土塗り左官
村本 真（京都工芸繊維大学）
- 3) 鋼構造における構造設計から鉄骨製作・施工に至る BIM 連携について
今井 敬（竹中工務店）
- 4) 建設×3D プリンター：技術革新の現在地と展望
木村達治（大林組）

以上